

議会だより



[表紙写真]

7月2日(日)町内でせたなライドが行われました。

今年で3回目の開催となり、各地から沢山のライダーが参加し、町内の様々なスポットを巡りました

第2回定例会	P 2～3
一般質問	P 4～7
委員会レポート	P 8
臨時会・特別委員会	P 9～10
政務活動費	P 11
議会の動き・編集後記	P 12



平成29年第2回定例会が6月8日に
行われました。

補正予算、条例の改正等の議案の審議を
行ない、全て原案のとおり可決されました。

審議された議案のあらましについては
次のとおりです。

補正の主な内容

◎一般会計補正予算(第1号)

流雪溝監視システム光ケーブル更新工事、高規格救急自動車・高度救命資機器材整備のための消防施設経費、人事異動に伴う給料費の他、4月18日発生の低気圧による強風雨災害の復旧費などのほか行政執行上当面必要とする経費等です。

◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

保険料還付金、還付加算金によるものです。

◎介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

人事異動等に伴う給与費の精査です。

◎簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

愛知地区トンケ線配水管布設工事による追加です。

◎公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

人事異動に伴う給与費の精査です。

条例

◎町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

町長、副町長の給料月額を減額して支給するため、条例の一部を改正しました。

◎過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について

過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、対象業種の改正を行う必要があるため、本条例の一部を改正しました。

◎指定介護予防支援事業に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律による、介護保険法の

改正による介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、本条例の一部を改正しました。

◎大成青少年会館設置条例を廃止する条例について

大成青少年会館の老朽化により施設を廃止するため本条例を廃止しました。

決議

◎畜産クラスター事業の推進と専決処分のある方に関する調査特別委員会設置に関する決議

調査の一連の流れを踏まえ、専決処分した行政処分とクラスター事業は同じ枠組みの中で調査すべきと考え、町側の考え、説明を求めていくとし決議しました。

その他

◎檜山管内公平委員会共同設置規約の一部を変更する規約の協議について

◎檜山管内行政不服審査委員会共同設置規約の一部を変更する規約の協議について
構成団体である「江差町ほか2町学校給食組合」において、平成29年7月末をもって厚沢部町が脱退し、名称を「江差町・上ノ国町学校給食組合」に変更となるため、両規約の変更の協議を行いました。

諮問

◎人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、次の方を推薦することについて議会としての意見を求められ、適任として答申しました。

- ・住所 大成区都
- ・氏名 名平 継義 (64歳)



意見書

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

2018年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とすることではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要として意見書を提出しました。

提出議員 梶田 道廣
賛成議員 大野 一男

同 本多 浩
同 平澤 等

※意見書は、要約して掲載しています。

※内閣総理大臣のほか、関係する大臣等に提出しました。

報告

◎繰越明許費の繰越し

・平成28年度一般会計予算
通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金事業、経済対策臨時福祉給付金事業認定こども園建設事業、被災

議会構成

総務厚生常任委員会副委員長

長の辞任と副委員長の選任、

議会広報発行常任委員会委員

長の辞任と委員長長の選任、同

副委員長長の選任、同委員の辞

任と指名、議会運営委員会の

先例を基準とする申し合せ事

項による補充選任により、次

のとおり議会構成が変更とな

りました。

総務厚生常任委員会

副委員長

変更後

変更前

議会広報発行常任委員会

委員

変更後

変更前

委員長

変更後

変更前

副委員長

空席による選任

議会運営委員会

委員

変更後

変更前

本多 浩

平澤 等

平澤 等

本多 浩

平澤 等

本多 浩

平澤 等

大湯 圓郷

大湯 圓郷

神田 和浩

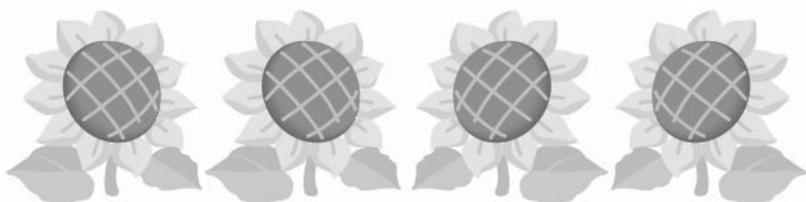
神田 和浩

平澤 等

大湯 圓郷

大湯 圓郷

大湯 圓郷



一般質問



「せたな町・特産品」の「せたなブランド」の確立を

大野 一男 議員



質問

長磯の漁協青年部は、150g以上の大型アワビを「蝦夷鮑華・(えぞほわか)」と名付けブランド化に取り組んでいます。

新函館農協若松支店はブランド米「ふっくりんこ」のブレミアム米の栽培を奨励し「収穫は6%程下がるが、販売価格は20%程高くなる」と見込み、全国ブランド米への成長に期待しています。

本年2月、北渡島檜山4町連携でシンガポール、昨年11月には檜山管内7町連携で東京都大田区において、地元農水産物、特産品の販売PR

をしてきました。現在、各地域で農産物、海産物、加工品などの特産品に付加価値を付けブランド化を図り、認知度を高め様々な機会を捉えて販路拡大に繋げていく動きが顕著です。

今後生産者、町、産業団体等が一体となつて特産品の活用を図りブランド化の発掘・開発・提言等を加速させ、その取り組みを具現化し地域活性化、まちおこしに繋げていかなければならないと考えます。

町長の所見を伺います。

販路開拓し、地域活性化に繋げていく

答弁 町長

特産品のブランド化について重要なのは、特産品が「売れる」ことであり開発段階から売るためのマーケティング

の戦略がポイントになり、高品質であることに加え生産量の安定的な確保が求められます。

農業・漁業などの産業団体や生産者が行うせたな町の食資源を活用した特産品の開発や磨き上げ、販路開拓に対し、町としても積極的に関わっていきます。

ふるさと納税の返礼品についても、新たな商品開発に向けて取り組んでいきます。そのため4月から、地域おこし協力隊を採用し、アドバイザー的な活動を行っています。

更には販路の新規開拓のため「せたな産メロン」「潮トマト」をマレーシアに輸出できないかその可能性を検討しています。ブランドあわび「蝦夷鮑華」や「道南発祥のブランド米、ふっくりんこ」などの地元特産品についても関係者と連携し積極的に販路の開拓に仕組み、地域活性化に繋げていきます。

再質問

せたな産ブランドによる特

産品の開発に活発な事例の紹介がありました。こうしたマシンの活用を今後もしっかりと続けていただきたい。

去年、約2億円のふるさと納税があり、結果返礼品として約6千万円超の特産品市場が生まれました。特産品を売り込み、PRする大きなきっかけとなりました。ナマコは「海のダイヤ」と言われ、干しナマコを加工品とし中国などにも売り込む仕組みを町としても関係者とタイアップし進めて頂きたい。

近年のインターネットの普及による情報収集の進歩、宅配便の普及、カードなどによる代金決済などの流通や物流の革命、進化は生産者と消費者をダイレクトに結び、新たな市場を形成しています。

是非、町のホームページに特産品やブランド化を紹介するコーナーを作り、消費者にせたなではこういうものがあり販売ルートはこういうものがあることを全国、全世界に発信して頂きたい。産官学の実践についてリーダー役

を務めていただきたい。

生産者自らPRできるよう指導していく

再答弁 町長

ふるさと納税については町にとつて大きな市場となっており、さらに拡大を図るため魅力ある特産品の品揃えをしつかりやらなければならぬと思います。ナマコは現在原料での出荷が全てですが加工については、ひやま漁協にお聞きし出来る事であれば模索してほしいと考えます。

ブランド米の「ふっくりんこ」については若松基幹支店の取り組みを注視し、応援していきます。流通業界は大変進歩しており、せたな町からでも全国を市場と考えられる状況になっています。特産品を全国にしつかりと発信できるように仕組み作りですが町のホームページで、どれだけPRができるかは当然限界もあると思いますので農協、漁協、生産者のホームページに速やかにリンクできるように考え積極的に各団体や生産者自

らPRを進めて頂けるよう指導していきます。

産官学の取組みについては、青山学院大学と連携して檜山ブランドを確立するための取組みを行っていきます。



漁協青年部が開発した蝦夷鮑華(えぞほうか)

生涯活躍のまち「CCRC」構想を 取り込んだ市街地活性化について

真柄 克紀 議員

CCRC（コンティニューイング・ケア・リタイアメント・コミュニティ）元気なうちに地方に移住し、必要なときに医療と介護のケアを受けて住み続けることができる場所のこと



質問

平成29年、町の高齢化率は43.6%になる見込みで急速に限界集落に近づきつつある。

国の地方創生各種事業等を活用し、今まで多面的に取り組んできているが全国的にもほぼ同様な企画の範疇にあり、当町の問題の根本的解決策は見出せていない状況であり、

今以上に視野を広げた取組の必要性を感じるがどう思うか。

平成27年から継続的にケアを受けられる高齢者共同体による活性化策「CCRC」に取り組んで地域の継続及び北檜山市街地の活性化、それを通して若者の地元定住と雇用の創出に取り組み動きが各地で芽吹いている。これらの取組は当町が抱える問題点の解決に一步二歩近づぐことになると考えられ、その必要性を強く感じるがこの点を今どのように考えるか。また、これらの構想を検討されたことはあるのかお伺いします。

民間事業者の確保に 取組み検討していく

答弁 町長

日本版CCRC構想が目指しているものは3つあります。1、都会の高齢者が地方に移

住して健康でアクティブな生活の実現

2、移住による地方への新しい流れにより移住した方が就労社会活動に参加し、地方の活性化に資すること

3、高齢化の進む首都圏の医療介護不足等の対応

この構想は運営主体となる民間事業者の確保が鍵になると言われています。したがって現段階では、町はこの構想を持つているが、他の移住定住対策や空家バンク、地域包括ケア等について取り組んでいるのでこれらの制度の活用で当面展開していきたいと考えています。

介護老人福祉施設は現在、常に定員を満たしていますが、介護職員も当町では人材不足であり運営主体となる民間事業者の確保に早く取り組みながら検討して参りたい。

再質問

私ばかりではなく色々な議員も、数年前から提案している北檜山中心市街地活性化の必要性及び優良町有地の有効

利用やそのエリアでの雇用創出や若者定住の必要性について議論してきたが、いま町で運営されている複数の医療施設等と連携して「CCRC」に取組む意義はあるのではないか。

今、町が主体となつてこのような構想を進めるのは難しいと思うが、民間活力の導入を研究しつつ当町の持つ分野の潜在力を十分に引き出していくチャンスでもあると思います。

また「CCRC」については1町だけではなく広域連携で展開していくという動きもある。北部檜山においても各町の持つ能力を相互に展開させ民間活力を有効に取組んだ施策をスピーディーにやる必要があると思う。この「CCRC」を含めた地域振興について町内及び庁内を通じて早急に検討を重ね真剣に取組んでいただきたいと考えるが、町長の所見を伺います。

町の各課題にも検討し考えていく

再答弁 町長

定年後にゆつくり田舎で暮らしたいというニーズは当然あると思う。私も上京の場を利用して当町にゆかりのある企業等に「CCRC構想」に対しての理解を話しているが、中々前向きな返事がいただけていない。

しかし、当町の置かれた現状を考えるとこれらの施策の検討の必要性については議員と同様の考えを持っているつもりです。町の魅力を高めることによつて町外、道外からの定住が増えるのであれば、いま町の定住対策等は一生懸命進めているが、現在実行している複数の施策の効果への期待と併せて「CCRC構想」についても議員からの町の各課題の取組のためにも検討し考えているところで理解を頂きたい。

新せたな町立国保病院改革プランと公的医療体制の今後について

質問

3月定例会の後、医療等対策審議会より「新せたな町立国保病院改革プラン」に対する答申があり、議会及び町民に示されました。

主な内容はA. 病院の役割の明確化、B. 経営の効率化、C. ネットワーク化、D. 経営の見直し、E. 病院の改革について提言されています。正式に改革プランが示された現時点で、これらに対する基本的な町長の考えと、このプランに対する今後のスケジュールについて具体的な考えもあればお伺いします。

病院のあり方について方向性を出す

答弁 町長

今回、示された新せたな町立国保病院改革プランは平成29年から32年までを計画期間としています。このプランの推進には「町民の生命と健康

をどのように守っていくのか」という観点を軸に病院運営の専門家を交え管理運営に係わる指標の集計、分析、情報収集、経営戦略の立案、病院全体の中長期計画の実行支援などの病院運営を支援する「経営戦略室」を立ち上げることを考えています。

スケジュールについては29年に国保病院の経営分析、医療制度診療報酬の情報収集及び経費削減と収入増への取組平成30年以降は経営状況を踏まえた病床機能の検討や更なる再編ネットワーク化、病院の建替えの問題などを検討し平成32年度の計画期間には将来を見据えた改革並びに病院のあり方に一定の方向性を出すことにしていくことで理解を願いたい。

再質問

今年度中に経営戦略案を立ち上げるということであるが、

今の医療を取り巻く環境の中では速やかに取り組む必要があると思う。直接プランとは関係ないというのがこの医師の問題を安定することなく、この改革プランを運用するのは大変厳しいと思う。

また、今後の経営形態の面から考えると現在の1病院2診療所の体制が町長の言う知恵を絞り色々な改善を施すことによつて持続可能であるということだが、今8千人を切ろうとする中で本当に可能であるのか。現時点でのその根拠について明確に示して頂きたい。希望的対応だけでは今後において大きな負担になることはないか。

病院の新築についても速やかに具体的に検討する必要があるが指摘されているが各専門家の意見の集約も必要とは思いますが町長としてどのように対処していくかと考えているのかも示して頂きたい。

議会にも相談し、進
めていきたい

再答弁 町長

この改革プランは32年までに整理するというそれぞれの段階の過程で問題を解決していきたいと思っている。

また、指摘された医師の安定的確保については募集の強化に努め早急に取り組みを進め結果を出していきたい。

現在進めている1病院2診療所体制は答申においても町民の大きな願いであると考えるので今後のあり方について私としては継続していきたいと思う。病院の新築については指摘どおりなので当然建替えが必要になってくると思う。そのときどのような機能を持つ合理的な使い勝手の良い施設であるべきかについて十分に研究する必要があると考える。

また、財源については現在の町財政から行くとももちろん有利な起債を対応しつつも財源の心配はあまりないだろうと考えられる。その時点では

議会にも十分相談させていた
だいて前に進めて参りたいと
考えている。



建替が検討されている国保病院

議会ホームページをご覧ください!!

議会中継や議会の日程、会議録等を随時更新し、最新の議会情報をお知らせしています。

議会ホームページは、下記アドレスを直接入力し、せたな町ホームページから議会のページへ移動するか、せたな町議会で検索していただくことで、ご覧になれます。

<http://www.town.setana.lg.jp/>

せたな町議会





委員会 レポート

総務厚生常任委員会

第4回

一、調査年月日

平成29年5月12日

二、調査項目及び結果

(1)総務課所管

①ふるさと納税の取組状況について調査しました。

②防災計画に係る年間計画等について調査しました。

③せたな町名誉町民条例の制定の背景・目的について調査しました。

(2)まちづくり推進課所管

①空家等除却補助金交付事業の概要について調査しました。

②荻野吟子「荻野医院」開業120周年記念事業の概要について調査しました。

③檜山管内7町と東京都大田区連携事業の内容について調査しました。

④北渡島檜山4町地域連携推進協議会事業の各町実施予定の事業について調査しました。

(3)町民児童課所管

・瀬棚学童保育所の移転時期等について調査しました。

その他

まちづくり推進課所管

・第2次せたな町総合計画策定業務の調査結果について報告を受けました。

第5回

一、調査年月日

平成29年5月29日

二、調査項目及び結果

(1)総務課所管

・防災対策等に係わる補正予算の内容について調査しました。

(2)町民児童課・税務課所管

①後期高齢者医療保険料の軽減判定誤りに関して調査し

ました。

②国民健康保険税の軽減判定誤りに関して調査しました。

その他

(1)保健福祉課所管

・サービスピッキ高齢者住宅の施設整備計画について調査しました。

(2)国保病院所管

・せたな町立国保病院内科医師退職に伴う診療時間の変更について報告を受けました。

産業教育常任委員会

第2回

一、調査年月日

平成29年3月29日

二、調査項目及び結果

(1)教育委員会事務局所管

・認定こども園新築工事について行政視察を行い工事費等について調査しました。

(2)農務課所管

・畜産クラスター事業の概要について調査しました。

平成29年4月17日

二、調査項目及び結果 教育委員会事務局所管

・行政視察に向けて、近隣町のプールの状況について調査しました。

その他

・専決処分に対して議長が見解について述べました。

第4回

一、調査年月日

平成29年5月30日

二、調査項目及び結果

(1)農務課所管

・強風による農業施設被害について調査しました。

(2)水産林務課所管

①流通加工総合整備事業補助金の概要について調査しました。

②水産物供給基盤機能保全事業負担金の概要について調査しました。

③海岸保全施設長寿命化計画の概要について調査しました。

(3)建設水道課所管

・流雪溝監視システム光ケーブル更新工事の概要につい

て調査しました。

(4)教育委員会事務局所管

①せたな町大成青少年会館設置条例の廃止について調査しました。

②大成農村広場改修工事の概要について調査しました。

その他

水産林務課所管

・平成28年度魚種別漁獲高について報告がありました。

議会広報発行常任委員会

第2回

一、調査年月日

平成29年5月1日

二、調査項目及び結果

・副委員長の選任について
・議会だより48号ゲラ編集について

・委員長の選任について
・議会運営委員会委員の補充選任について



◆第2回◆

3月31日開会

- ・一般会計補正予算(第12号)
- ふるさと応援寄附金に係る基金への積立金や認定こども園建設費などです。

則の一部を改正する省令が施行されたことに伴い本条例の一部を改正をしました。

◎せたな町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、軽減判定所得について見直すため、本条例の一部を改正しました。

◆第3回◆

4月27日開会

◎専決処分の承認

- ・平成28年度一般会計補正予算(第13号)

議会運営委員会から、地方自治法に反して行われた専決処分の承認は、会議に付する事件とは言えず、議題とすることを宣告する必要はないとの答申がありました。

- ・せたな町税条例の一部を改正する条例について

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規

・契約金額

8208万円

・工事名

認定こども園新築工事(建築主体)

・契約の相手方

久遠郡せたな町北檜山区豊岡167番地1

井上建設株式会社

代表取締役 井上 義章

・契約金額

5億436万円

・工事名

認定こども園新築工事(電気設備)

・契約の相手方

橋本・ヤマト経常建設共同企業体

・代表者

札幌市東区北19条東10丁目3番7号

橋本電気工事株式会社

代表取締役 橋本 耕二

・構成員

久遠郡せたな町北檜山区豊岡334番地40

有限会社ヤマト電気工業所

代表取締役 並川 武光

・契約金額

8046万円

・工事名

認定こども園新築工事(機械設備)

・契約の相手方

函館市栄町12番18号

大明工業株式会社

代表取締役 小林 正明

・契約金額

1億368万円

・代表者

函館市松川町36番14号

・構成員

日興電気株式会社

・代表取締役

飯田 孝次

・契約金額

1億4040万円

・工事名

久遠郡せたな町北檜山区北檜山135番地11

城ヶ端建設株式会社

代表取締役 城ヶ端 政次

403番地

株式会社高橋建設せたな本店
専務取締役本店長

・代表者

坂下 正治

・契約金額

6億5988万円

・工事名

瀬棚養護老人ホーム三杉荘

・代表者

改築工事(電気設備)

・契約の相手方

日興・小西経常建設共同企業体

・代表者

函館市松川町36番14号

・構成員

久遠郡せたな町瀬棚区本町159番地

・代表取締役

飯田 孝次

・契約金額

有限会社小西電気商会

・代表取締役

小西 金吾

◆第4回◆

5月26日開会

◎工事請負契約の締結

・工事名

瀬棚養護老人ホーム三杉荘改築工事(建築主体)

・契約の相手方

城ヶ端・高橋建設経常建設共同企業体

・代表者

久遠郡せたな町北檜山区北檜山135番地11

城ヶ端建設株式会社

代表取締役 城ヶ端 政次

・構成員

久遠郡せたな町瀬棚区本町

403番地

株式会社高橋建設せたな本店
専務取締役本店長

・代表者

坂下 正治

・契約金額

6億5988万円

・工事名

瀬棚養護老人ホーム三杉荘改築工事(電気設備)

・契約の相手方

日興・小西経常建設共同企業体

・代表者

函館市松川町36番14号

・構成員

久遠郡せたな町瀬棚区本町159番地

・代表取締役

飯田 孝次

・契約金額

有限会社小西電気商会

・代表取締役

小西 金吾

設共同企業体

・代表者

函館市昭和2丁目37番18号

池田煖房工業株式会社函館

支店

支店長 杉本 辰

・構成員

久遠郡せたな町北檜山区豊

岡167番地1

北部工営株式会社

代表取締役 佐瀬 敏秀

・契約金額

3億2238万円

・工事名

生涯学習センター整備工事

(建築主体)

・契約の相手方

内田・伊関経常建設共同企

業体

・代表者

久遠郡せたな町北檜山区徳

島143番地

株式会社内田建設

代表取締役 内田 尊之

・構成員

久遠郡せたな町北檜山区北

檜山135番地

株式会社伊関組

代表取締役社長 伊関寿之

・契約金額

1億1016万円

・工事名

瀬棚中学校暖房設備改修工事

・契約の相手方

池田煖房・北部工営経常建

設共同企業体

・代表者

函館市昭和2丁目37番18号

池田煖房工業株式会社函館

支店

支店長 杉本 辰

・構成員

久遠郡せたな町北檜山区豊

岡167番地1

北部工営株式会社

代表取締役 佐瀬 敏秀

・契約金額 7916万4千円

◎物品購入契約の締結

・物品名

水道メーター器

・契約の相手方

久遠郡せたな町大成区久遠

123番地

曲キ株式会社大野吉太郎商店

代表取締役 大野 一

・契約金額

1466万6千4百円

特別委員会

着服事件の再発防止と町民の信頼回復に関する調査特別委員会

4月24日、5月12日

特別委員会を（大野一男委員長）4月24日、5月12日に

再発防止に向けた調査を行う

い、「信頼回復に向けて理事

者、職員は町民の期待に応え、

町民の視点に立ち、公共の利

益の増進を目指すという原点

に立ち、町民の信頼回復に努

められることを強く望む」と

して委員会より報告がありました。

畜産クラスター事業の推進と専決処分のある方に
関する調査特別委員会

6月8日

特別委員会を第2回定例会

時に設置し、正副委員長の互

選を行い、委員長に菅原義幸

議員、副委員長に熊野主税議

員が選ばれました。



議会のインターネット中継をご覧ください！

せたな町議会では「町民の目に見える、わかりやすい、開かれた議会」を目指し、議場で行われる会議を、議会ホームページでインターネット中継をしています。



政務活動費

交付額	1,440,000 円
執行額	229,774 円
執行率	15.95 %

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるため必要な経費の一部として交付されるもので、本町議会議員には、一人当たり年額 12 万円が交付されています。

各議員は収支報告書に 1 円から領収書を添付し、議長に報告しています。また、議長は各議員からの収支報告書のチェックを行い、透明性の確保に努めています。

残額が出た場合は、町に返還しています。

平成 28 年度は、交付額 144 万円に対し 229,774 円の執行により執行率 15.95%でした。

議 員 名	交 付 額	支 出 額 合 計	返 還 額
細 川 伸 男	120,000 円	0 円	120,000 円
神 田 和 浩	120,000 円	0 円	120,000 円
江 上 恭 司	120,000 円	36,208 円	83,792 円
本 多 浩	120,000 円	19,008 円	100,992 円
石 原 広 務	120,000 円	0 円	120,000 円
梶 田 道 廣	120,000 円	32,646 円	87,354 円
大 湯 圓 郷	120,000 円	0 円	120,000 円
真 柄 克 紀	120,000 円	0 円	120,000 円
平 澤 等	120,000 円	4,439 円	115,561 円
大 野 一 男	120,000 円	77,843 円	42,157 円
熊 野 主 税	120,000 円	53,040 円	66,960 円
菅 原 義 幸	120,000 円	6,590 円	113,410 円
計	1,440,000 円	229,774 円	1,210,226 円

議 員 名	支 出 内 訳							
	調査研究費	研 修 費	広報・広聴費	議員活動費	会 議 費	資料作成費	資料購入費	事 務 費
細 川 伸 男	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
神 田 和 浩	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
江 上 恭 司	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	36,208 円	0 円	0 円
本 多 浩	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	19,008 円	0 円
石 原 広 務	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
梶 田 道 廣	0 円	25,015 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,500 円	6,131 円
大 湯 圓 郷	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
真 柄 克 紀	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
平 澤 等	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	2,592 円	1,847 円
大 野 一 男	0 円	77,843 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
熊 野 主 税	0 円	53,040 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
菅 原 義 幸	0 円	4,020 円	0 円	0 円	0 円	0 円	2,570 円	0 円

議会の動き

◆ 4 月 ◆

- 17日 第3回産業教育常任委員会
- 19日 第9回正副議長・委員長協議会
- 24日 第3回着服事件の再発防止と町民の信頼回復に関する調査特別委員会
第4回議会運営委員会
第3回全員協議会
- 27日 第5回議会運営委員会
第3回臨時会

◆ 5 月 ◆

- 1日 第2回議会広報発行常任委員会
- 8日 檜山定例議長会議（9日まで）
- 9日 産業教育常任委員会懇談会
- 12日 第4回着服事件の再発防止と町民の信頼回復に関する調査特別委員会
第4回総務厚生常任委員会
- 18日 第10回正副議長・委員長協議会
- 26日 第4回臨時会
第4回全員協議会
- 29日 第5回総務厚生常任委員会
- 30日 第4回産業教育常任委員会
- 31日 第1回北部桧山衛生センター議会臨時会

◆ 6 月 ◆

- 5日 第6回議会運営委員会
- 8日 第2回定例会
第1回畜産クラスター事業の推進と専決処分のある方に関する調査特別委員会
- 13日 第68回定期総会及び議長・事務局長研修会（14日まで）
- 22日 第2回畜産クラスター事業の推進と専決処分のある方に関する調査特別委員会
総務厚生常任委員会協議会

全道議員研修会

7月4日、北海道町村議会議員研修会が札幌市で行われ、せたな町議会からは9人の議員が参加しました。

慶応義塾大学経済学部教授 金子勝氏から「トランプ政権と日本経済ー地域経済への影響は？」、日本放送協会解説副委員長 島田敏男氏から「日本政治の昨日・今日・明日」と題し講演がありました。



事務局から のお願い

議会議長宛の
案内・請願・
陳情等は、
議会事務局へ
提出願います。

編集後記

いよいよ祭りの季節がやってきました。6月は大成区の太田神社の祭典から始まり、9月にかけて各区各地域で祭りが行われます。本来、祭りは神様に大漁祈願、五穀豊穡、家内安全などを祈り、感謝する神事です。

全国的に大雨での災害が多発していますが、私達の住む地域でも雨の日も多く畑の作物も心配な状態が続いています。また、イカ漁も昨年以上に厳しい状態が続いています。これがこれも異常気象が原因なのでしょうか。

今年も半年が過ぎ、農家も漁師も収穫の秋を笑顔で迎えられることを祈り、感謝できることを願っています。

(桧田)

議会広報発行常任委員会

- | | |
|-------|---------|
| 委員 長 | 平 澤 |
| 副委員 長 | 神 和 |
| 委員 | 江 上 恭 司 |
| 委員 | 梶 田 道 廣 |
| 委員 | 大 湯 圓 郷 |
| 委員 | 熊 野 主 税 |